

●障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
●グループホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地1 TEL・FAX 087(888)2557

●発行/社会福祉法人ポム・ド・パン
●発行日/2016年5月31日

平成28年4月から、 「香川おもいやりネットワーク事業」の 取り組みとして「子育て支援」相談活動を開始しました

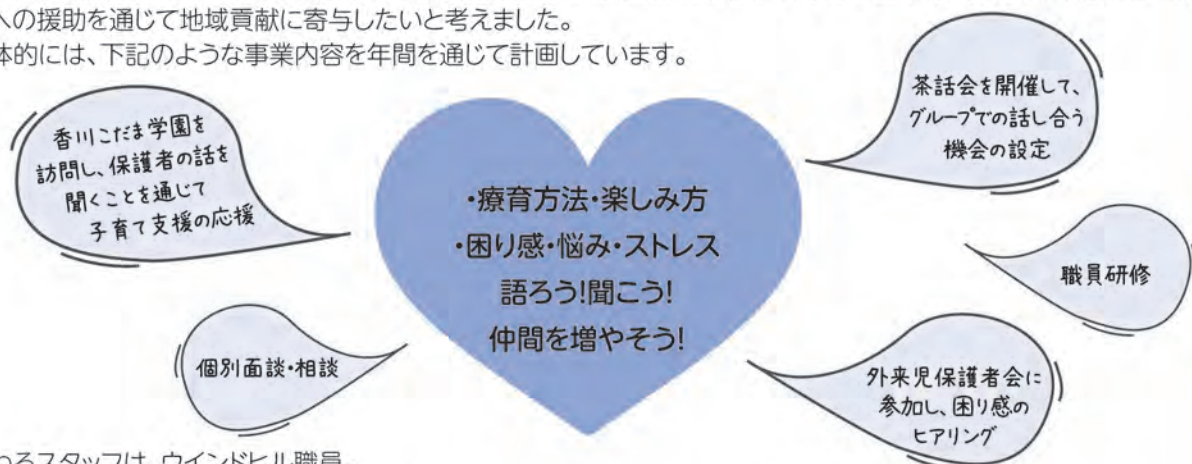


「香川おもいやりネットワーク事業」は、社会福祉法人施設と社会福祉協議会と民生委員・児童委員がつながり、支援を必要とする方を、「地域でトータルにサポートする仕組み」をつくり、「香川型“福祉でまちづくり”」をめざした事業です。社会福祉協議会及び社会福祉法人等が連携・協働して社会貢献事業を行うということで、社会福祉法人ポム・ド・パンも参加しています。

そして、平成28年度より、『子育て支援』相談活動を開始しました。

児童発達支援センター香川こだま学園との共同で、発達障害、自閉症等の子育てに奮闘中の保護者の方、関係者の方々への援助を通じて地域貢献に寄与したいと考えました。

具体的には、下記のような事業内容を年間を通じて計画しています。

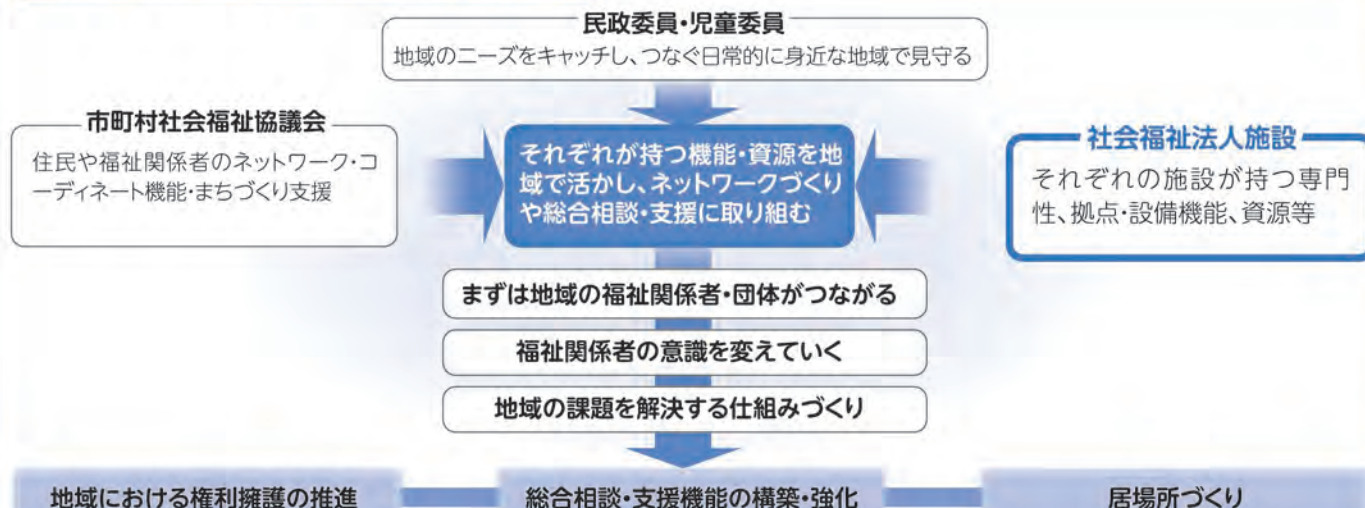


関わるスタッフは、ウインドヒル職員、

長年に渡って発達障害者に関わってこられた先輩の保護者、自閉症協会の保護者の方々にご協力を得ながら生活のしづらさを抱え、支援を必要とする方をトータルで支えられる手助けができればと考えています。

管理者 松原正子

香川おもいやりネットワーク事業の仕組み(機能)



療育グループI・IIの活動



療育活動の実施と位置付けについて

障害者支援施設の日中活動は、主に生活介護事業で創作活動や生産活動を行っていますが、施設利用者の障害の症状や程度は様々で、利用者の中には日中活動に十分参加できない人たちがいます。この人たちが創作活動や生産活動に参加して、充実した日々が過ごせることをサポートするために、日中活動の時間帯を利用して療育活動を行っています。

療育活動は概ね半日程度で、体力作り、社会見学、社会参加を目的とした活動を行っており、集中力アップ、気分転換などの効果もあります。

目的

- ①ウォーキング(健脚)等の運動を通しての体力向上及び施設外の活動を通して社会的なルールやマナーを身につける。
- ②公共の場において日常的なマナー、トイレの利用等、体験を積み上げて社会性を育てる。
- ③言葉かけにより適切な行動(待つ・集まる・他者への気遣い等)への理解を深め、正しい行動が1つでも多く出来るようになる。

●活動内容

〈現地での活動〉

- 1 ウォーキング(健脚) ⇒ 一人で歩く、他者と並んで歩く、集団で歩く、遅い人を待つ、全体のバランスを考えて歩く

他者の存在を意識し、自分が集団の中のひとりだという事への気づき

- 2 本の読み聞かせ ⇒ 他者の話に注目する(耳を傾ける)、座って話を聞く

声かけ・指示等に耳を傾け社会性を育てる

〈移動の車中での関わり〉

- 3 車窓の様子をアナウンス ⇒ 外の様子・その場に応じたことを丁寧に分かりやすく支援員が説明する

季節を感じる感性を育て、生活の幅を広げる・興味関心を高める

- 4 リズム遊び、手遊び ⇒ 声かけや指示に対して耳を傾け、模倣する力を育てる

声かけ・指示等に耳を傾け、適切な行動ができる・体験を増やす

公涇公園でのウォーキングの様子



1

以前は一人一人が思うままにバラバラで歩いていたのが、今では少しずつ他者を意識しながらまとまって歩けるようになってきました。

利用者同士の相性も考慮して、タオルを使ってペアになって歩くことで相乗効果が出ています。

すれ違う一般の方とのあいさつや声をかけてもらえる事などで社会性を身につけます。〈地域とのふれあい〉



本の読み聞かせ



2

「カクテルパーティー効果」という言葉を耳にした事がありますか？

私たちはたくさんの人がそれぞれ雑談している中でも、自分の名前や興味のある人の会話などは自然と聞き取ることができます。しかし、自閉症の人はそれが困難な人がいます。本の読み聞かせをすることで他者の話に耳を傾ける訓練にもつながっています。

3



季節によって車窓の景色は変わります。

「お花がいっぱい咲いているね」

「今日は少し雨が降っているから傘をさして歩こうね」

「いい天気だから暑くなりそう。タオルがいるね」 などなど。利用者の感性を育て、豊かな生活が送れるように関わっています。



車窓の様子をアナウンス



リズム遊び・手遊び



4

手は「外部の脳」とも言われるように、脳の大部分を刺激する器官のひとつです。手遊びでは手をバランスよく使うので、脳の活動を活性化して発達を促してくれます。

また、手遊び歌にはいろいろなものの名前が含まれています。遊びの中からその言葉を覚えることにもつながっていきます。

みんなで手遊びする時は、気持ちを共有することを体感できるため、自然とコミュニケーションを取る楽しさにもつながっていきます。

世界自閉症啓発デー(毎年4/2) 発達障害啓発週間(毎年4/2～8)

平成19年12月18日の国連総会で、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取組みが行われています。

啓発パレード



高松市役所の懸垂幕



県内各所のブルーライトアップ

- ・瀬戸大橋記念館
- ・高松シンボルタワー
- ・四国学院大学(チャペル)
- ・旧金毘羅大芝居「金丸座」

啓発グッズの配布
ゆめタウン、イオンモール高松香川県庁本館ギャラリーにおける
啓発資料・作品等の展示

世界自閉症啓発デー
日本実行委員会公式サイト

<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

啓発デー



高松市で行われた世界自閉症啓発デーの様子です。シンボルカラーである「ブルー」は癒しや希望を表す色です。その「ブルー」のジャンパーを着て県庁から高松商店街をパレードしました。少しでも多くの人に自閉症の事を知っていただき、自閉症や障害を持った人が暮らしやすい社会になってほしいと心から願っています。パレードの後はゆめタウン高松やイオン高松で、少し恥ずかしそうにしている利用者と一緒にパンフレットやティッシュを配って啓発活動をしました。

支援員 村川文生

ウインドヒル・風見の家の主な行事

瀬戸フィル音楽会～弦楽四重奏～

瀬戸フィルハーモニー交響楽団の皆さんによる音楽会が行われました。

地域の方々や地元の三谷保育所の園児さんもお招きして、誰でも一度は耳にした事があるなじみの曲や本格的なクラシック音楽を演奏していただきました。

支援員 竹内俊介



2/16

施設交流ボウリング大会

残念ながら今回は入賞を逃しましたが、自分以外の人が投球しているのを見て、拍手を送って応援する姿や投球する順番を説明するとしっかり理解する事もできボウリングを楽しんでいました。

支援員 安田美佳



2/28

出前スポーツ教室 フライングディスク

かがわ総合リハビリテーション福祉センターのスポーツ指導員(2名)の方にお越しいただき、フライングディスクについての基本的なルールや投げ方について教えていただきました。

ディスクを正しく、持ちやすくする為に、指を置く位置にカラーテープで目印を付けての工夫や、投げる前に手首を巻き込んで、飛ばす時に手首を返すなど新しい知識を学びました。今後のレクに役立てていきたいと思ひます。

支援員 竹内俊介



3/15

花 見

季節を感じる感性を育てることは豊かな心への成長にもつながっていくのではないのでしょうか?

「花より団子」の利用者が多い中、写真の利用者を見て下さい。とても穏やかで素敵な表情をしています。

支援員 箭崎順一



4/1.5.8

地域とのつながり



パンちゃん



ボムくん

お茶会

3/14

今年で4回目となるお茶会行事。

最初は正座もままならなかった利用者が上手に座れるようになったり、少しずつ礼儀作法も学んだり、楽しいひと時を過ごしました。

いつも講師を引き受けて下さっている高井様、中本様、開出様、本当にありがとうございます。

「今年が一番いい雰囲気でしたね」と言って下さった言葉に利用者の成長を感じる事ができました。

支援員 鍋谷明子



水仙ロード

3/23

地元で活動されているリフレッシュクラブの皆さまと今年も一緒に水仙ロードの散策に行ってきました。当日は天候にも恵まれ、水仙の花もまだ桜もきれいに咲いており、つくしを摘み取る事に夢中になる場面も。

今回で6年目となるこの行事。

今後も地域の方々とのつながりを大事にしていきたいです。

支援員 和田真由美



障害者差別解消法って知っていますか？

「障害を理由とした差別」をなくす法律です

障害者差別解消法は、国や市区町村といった行政機関や、会社やお店などの民間事業者での「障害を理由とする差別」をなくし、すべての人が障害のあるなしにかかわらず、おたがいに人格と個性を尊重しあいながら共生できる社会をつくるための法律です。この法律は、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しています。

(注)正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。



平成28年4月1日から
障害者差別解消法がスタートしています。

環境整備



利用者が施設内の環境整備に取り組んでいる様子です。

不慣れな手つきですが、お花と雑草をしっかりと見極めながら一生懸命中庭の花壇の手入れをしてくれています。

生活の安定には整った環境が不可欠です。自分たちの住んでいる家を自分たちの手で守っていく意識の向上につながっていくことを目的としています。

動物のベンチ



ユニット玄関前に置かれた動物のベンチです。移動開始前に利用者がここに集まっています。(サル・ゾウ・ワニがいます)

小人のオブジェ



ウインドヒルに上がる急な坂道の途中に置かれた小人のオブジェです。お越しの際はぜひ見つけて下さい。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員 (敬称略・順不同)

◆個人会員 平成28年度 平成28年4月1日～平成28年5月2日

松岡 正博	鹿野 栄子	後藤見知子	計野浩一郎	深井 一恵	岩部 雅人	河北 豊	大宅 秀美
猪熊 恵子	幸田加津子	塩本 洋子	大門 亘	小西 朋子	藤岡 幸弘	福岡 茂雄	洲崎 輝一
秋山 智	安藤 敏典	浅岡加寿子	湯浅美智子	三木 隆文	三木 スミ	三好 悦子	中野 博子
河島 淳子	村上 明美	今滝 知子	岡 康弘	磯部 康子	山本 哲	藤田 和代	横井 和子
金川 謙二	金川 恵子	金川 大介	松原 廣	松原 正子	鈴木 幸市	鈴木 克幸	鈴木 裕子
鈴木幸太郎	鈴木裕太郎	寒川 妙子	安倍 晶子	鎌田 泰明	堀 仁美	中村美恵子	磯部 愛
白井 麻美	児玉 慶子	和田 則昭	和田真由美	松原 健太	谷本 賢	真鍋 静子	遠藤 能成
松尾 能之	三好 勉	三好 智子	加藤 恵子	田中 輝明	吉田 竜平	安原 眞理	安原 依子
重利 久代	村尾スミ子	三好喜久子	小山 裕介	石丸 和孝	坂本 厚子	美浦 称一	山本 和子
東川 里美	愛川 幸子	高嶋 和弘	高嶋 誠三	猪塚 正章	猪塚 和子	石本 寛嗣	多田 準一
高木美枝子	北條美代子	新名 義隆	森 義弘	佐光 昭二	宮崎 昭子	藤岡 剛	中野真貴子
高橋由佐子	大西 規子	藤田 共子	森 正幸	宮崎 成	石元 信子	堤 康	増田 泰子
細井 香	山本 信二	土手添レイ子	村山 昌	大熊 弘子	松原 馨	遠藤 定則	和田 龍兵
山本 勝博	豊島 純子	山本 斐	松本 建男	吉村繁三郎	石田 恵美	中條満智子	元木 康之
山縣 尚昭	竹野内政子	松下 綾子	宮武 孝宏	宮武 宏	杉崎 行春	松下 学	川井 浩三
谷川 博彰	谷川 聡	田岡 博雄	田岡 晃平	石田測量登記事務所	松本知恵子	保本ふさ枝	青井 美彦
佐竹 勝利	和泉久美子	武田 崇香	鶴見 翼	大橋 光政	近藤 勝	瀬谷 之人	安藤 利政
白川 勉	梶尾由紀子	片桐 正晶	片桐 泉	馬淵 太助	真鍋 幸恵	中井 義昭	松原 二郎
松原 美恵	宮宇地 峻	黒嶋 正子	森永 俊樹	森永 政子	西形 穰	小山美千代	小山カラル
土居 一郎	土居 慶子	土居 良助	土居 晶子	宮崎 歩	大矢三千代	西形 涼子	樽谷 学
福田 宣央	松下 静江	山下真理子	細井 千秋	小山 敦弘	松川 愛子	石井 博文	兵頭 政菊
黒田 寛子	荻野 正巳	(株)協同ガス	河田 美紀	杉原由美子	神前 武宏	伊豆野美代子	畠山 進
畠山 一夫	藤田 容三	藤田美代子	藤田 洋志	三谷 善則			

◆団体会員 平成28年度 平成28年4月1日～平成28年5月2日

(株)たまも (株)トミタ 大成段ボール(株) (株)一陽バック (有)晴天 (有)久間薬局
 自由民主党香川県第一選挙区支部 (株)遠藤米穀店 (株)合田工務店 (株)生コン輸送 (株)ムーミー
 アイ・プロジェクト (株)百十四銀行空港口支店 (株)ミネック (有)香南鉄筋 (有)雄興業 (有)高島産業

平成28年4月1日～平成28年5月2日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会頂きました。平成28年5月3日以降にご入会の方々の名前も次回の会報に掲載させていただきます。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とグループホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

年会費 個人会員 一口 3,000円 団体会員 一口 10,000円

ご入金方法 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

本当にありがとうございました。

熊本地震で被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

社会福祉法人ポム・ド・パンも加入している全国自閉症者施設協議会が、震災後すぐに対応に動き、大分県のめぶき園の五十嵐さんにより4月18日に三気の里(熊本・会員施設)に救援物資を届けてくださいました。

ウインドヒル・風見の家でも職員、保護者会、関係者など有志一同で募金活動に取り組んでいます。一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。みんなで熊本に元気を届けましょう！！

地域に学ぶ「ウインドヒルを訪問して」

総合的な学習時間の一環として、「地域に学ぶ」をテーマとして、施設見学に来られました。

事前に調べ学習をして、関心を深めての体験でした。17名の中学1年生が元気よく、キラキラとした目で玄関を入ってきたのが印象的でした。

利用者と卓球を体験し、障害に対して疑問を持っていたことを率直に質問をされて、驚きの表情を見せていました。

- 利用者の方が楽しく暮らせるように施設はたくさんの工夫をしているのにびっくりしました。掃除・洗濯などは利用者の方が協力して自分たちでしているのも驚きました。また、作業の場においては、利用者個人に合わせて集中力を養い、暮らしの中ではリラックスできるように工夫していました。
- できることもできないこともすべて支援するのではなくて、できることは自分でしてできないことだけを支援することが大切であること。
- 個室のクローゼット中もきれいに分けており「ハンカチ」などを書いてとてもわかりやすくしていました。
- 仕事や環境整備をして、社会に貢献していることもわかりました。
- 差別が少しでも減って、しょう患者の人達の生活がもっと豊かになってほしいと思いました。また、このような機会があったら、勉強しに行きたいです。
- 何かの障害で困っていたら手伝ってあげたいです。
- ウインドヒルの人達はとても明るかったです。



生徒感想の一部抜粋(香川第一中学校)

苦情解決処理状況(平成28年2月1日～平成28年5月31日) 苦情受付件数 0件

保護者会コーナー

全国自閉症者施設協議会
神奈川大会に

参加させていただきました

講演

「当事者研究の立場から考える
自閉症」

東京大学先端科学技術研究センター

綾屋 紗月氏

①自分の周りの状況がいまいち把握できない。集団と一緒にいても楽しさや意味が伝わってこない。

②身体内外からの情報に対して、絞り込みや、まとめあげがゆっくりであるために、すりあわせれずに乱立する。内外の感覚情報が飽和しフリーズやパニックに陥りやすい。

①、②の様なご自身の事を分析され、自らのメカニズムを探っていく。当事者研究をされています。自閉症者の世界観を知る上にも、大変興味深い内容でした。

大分めぐき園施設長 五十嵐康郎

「自閉症の子どもたちへの支援で必ず育てて欲しいものがあります。それは人との信頼関係であり、人と折り合いをつける力です。どんなに障害が重くても、親や援助者の関わり方次第で人との信頼関係や折り合いをつける力は必ず育ちます。このことこそが、人として生きていくうえで、最も大切なことだと信じています。」

とても印象的でした。心に残りました。

「人として生きていくうえで、最も大切なもの」それを身につけた姿を見届けた!!と思いました。

磯部 洋子

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。

当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。

スマートフォンでは右のQRコードから読み取れます。

アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

編集後記

このたびの熊本地震で被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

第28回全国自閉症者施設協議会熊本大会において、運営スタッフとして参加した際に、大変お世話になった三気の里様が被災されたと聞き、とても心配しております。

私たちも微力ではありますが、一日も早く元の生活が過ごせるようにお手伝いさせて頂きたいと思っております。



メリー♀(年齢非公開)
2008年12月にウインドヒルに
来ました。



モモ♀
2006年1月生まれ